

平成21年5月7日現在

研究種目：基盤研究（B）海外学術
研究期間：2006年～2009年
課題番号：18402033
研究課題名（和文） 国際移民の比較制度分析

研究課題名（英文） Comparative institutional analysis of international migration systems

研究代表者
丹野 清人
首都大学東京・人文科学研究科・准教授
研究者番号90347253

研究分野：社会学

科研費の分科・細目：社会学・社会学

キーワード：越境する雇用システム、労働力輸出機構、国際移民、比較制度分析、移民政策、規制緩和。

1. 研究計画の概要

本研究は、日本で就労するブラジル人労働者が日本とブラジルの間を行き来している状況を鑑みて、日伯の間には国境を越えて労働市場が成立していると考え、この国境をまたいで成立している労働市場において、労働力輸出国であるブラジルから労働力輸入国である日本の具体的な工場（就労場所）に労働者を送り込む日伯の組織的なつながり労働力輸出機構と把握し、この労働力輸出機構が一つの制度となっていることから、この制度の変化を比較制度分析の手法から分析することを通して、日本における外国人労働者の定着についての基本モデルを把握しようとするものである。

日本が少子高齢化社会を迎えてきている現状においては何らかの形で外国人の手を借りなくては日本の産業は成り立たなくなっている。近年、規制緩和が一気に進んだが、こうした規制緩和政策で外国人を受入れるのではなく、外国人の権利にも配慮した受入のあり方についても本研究は検討を加える。

2. 研究の進捗状況

労働力輸出機構は、具体的にはブラジルにおける日系旅行社・デカセギ旅行社（労働力のリクルーティングシステム）と日本における業務請負業・製造派遣業（労働力のディストリビューティングシステム）との連携によって成り立っている。そこで本研究は、おもにブラジルサイドにおいて日系旅行社・デカセギ旅行社と日本の業務請負業者との連携

の仕方がどのように変化してきたのか。この変化を通して、日系旅行社・デカセギ旅行社の経営方法がどのように変化したのか。クライアントであるデカセギ者の行動パターンの変化をブラジルの旅行社がどのように理解しているのかを着実に聞き取り調査から進めてきた。

その結果、日系旅行社・デカセギ旅行社が単なる日本就労の世話と航空券の販売というビジネスにとどまるのではなく、デカセギの結果、貯金を持って帰国した後の資産形成の手伝い、日本滞在中の遺産相続や離婚手続きといった法律サービス、航空券販売だけではなく国際引っ越しも含めた運輸ビジネスへの参入といった具合にビジネスを複雑化させつつ、日本就労者の変化に対応していることを調査の結果から掴んでいる。

3. 現在までの達成度

デカセギにくるブラジル人の就労志向および日本滞在期間中の家族形態の変化にあわせて、日系旅行社・デカセギ旅行社のデカセギ者へのサービスの形態が大きく変化していることを把握した。こうした知見は、これまでに80の日系旅行社・デカセギ旅行社、6つの日系人経営のサンパウロ州内の不動産会社、その他サンパウロ領事館や現地の日系新聞社等にも聞き取り調査を行った結果であり、この間の研究成果についても順次雑誌論文や図書刊行物において発表している。下記の代表的な成果には含めていないが、ゲラの校正を終えて、活字化されて出ただけのレフリー雑誌論文が2本あり、今後更に本研

研究成果を用いた図書が出る予定であり、所期の目的は十分に達成されていると考えている。

4. 今後の研究の推進方策

2009年度が、研究の最終年度となる。基本的なデータは2008年までに取り終えている。だが、2008年秋以降に、日本も世界同時不況に飲み込まれ、外国人労働者をめぐる環境は大きく変化した。日伯の間の労働力輸出機構も大きな影響を受けており、ブラジルでも日系旅行社・デカセギ旅行社の倒産・廃業が相次いでいる。本研究は、予想もしない大きな経済環境が生じたことで、データの解釈の仕方に十分な注意を要する状況になっている。最終年度である2009年度は、この新しい環境を吟味した上で、最終報告書の執筆に邁進することとする。

5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計6件)

①丹野清人、2009、「総合デカセギ業が包み込む日本のブラジル人労働市場」『都市問題』Vol.100, No.3, Pp.60-67。

②丹野清人、2008、「『部品』扱いされる外国人ハケン労働者」『リプレーザ』No.6, Pp.30-37。

③丹野清人、2008、「越境する雇用システム：日系人のデカセギを理解する」『オルタ』No.396, Pp.15-17。

④丹野清人、2007、「在留特別許可の法社会学」『大原社会問題研究所雑誌』No.582, Pp.1-30。

⑤丹野清人、2006、「総合デカセギ業の誕生」『大原社会問題研究所雑誌』No.573, Pp.39-60。

⑥丹野清人、2006、「自動車産業一次下請け企業における非正規雇用の変化」『寄せ場』No.19, Pp.88-102。

[学会発表] (計1件)

丹野清人、「日本の日系外国人定住者の生活状態」慶応大学グローバル COE「市民社会におけるガバナンスの研究教育拠点」市民社会分析ユニット(8)、2009年1月24日、慶応大学法学部。

[図書] (計3件)

①中牧弘允・佐々木雅幸・総合研究開発機構編、2008、『価値を創る都市へ：文化戦略と創造都市』NTT出版、1-290頁。

②丹野清人、2007、『越境する雇用システムと外国人労働者』東京大学出版会、1-326頁。

③樋口直人・稲葉奈々子・丹野清人・岡井弘文・福田友子、2007、『国境を越える』青弓社、1-278頁。

[産業財産権]

○出願状況 (計 件)

○取得状況 (計 件)

[その他]